

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	1	選択
担当教員			
徳留 由貴			
水3、木3			
添付ファイル			

科目の概要	保育内容・人間関係Ⅰで学んだことを踏まえて、乳幼児期の人間関係の発達特性をふまえた保育実践のあり方について具体的な保育実践事例を読み合いながら確認し学び直していく。
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション／導入 授業計画について。 「保育内容・人間関係」とは何かについて考える。</p> <p>第2回 0～2歳児の発達と仲間関係① 0～2歳児の発達と仲間関係の理論と実践について講義及びグループ討議を交えて理解する。</p> <p>第3回 0～2歳児の発達と仲間関係② 0～2歳児の発達と仲間関係の理論と実践について講義及びグループ討議を交えて理解する。</p> <p>第4回 3歳児の発達と仲間関係① 3歳児の発達と仲間関係の理論と実践について講義及びグループ討議を交えて理解する。</p> <p>第5回 3歳児の発達と仲間関係② 3歳児の発達と仲間関係の理論と実践について講義及びグループ討議を交えて理解する。</p> <p>第6回 4～5歳児の発達と仲間関係① 4～5歳児の発達と仲間関係の理論と実践について講義及びグループ討議を交えて理解する。</p> <p>第7回 4～5歳児の発達と仲間関係② 4～5歳児の発達と仲間関係の理論と実践について講義及びグループ討議を交えて理解する。</p> <p>第8回 異年齢保育における仲間関係① 異年齢保育における子どもの発達と仲間関係の理論と実践について講義及びグループ討議を交えて理解する。</p> <p>第9回 異年齢保育における仲間関係② 異年齢保育における子どもの発達と仲間関係の理論と実践について講義及びグループ討議を交えて理解する。</p> <p>第10回 困難を抱える子どもと仲間関係① 困難を抱える子どもと仲間関係の理論と実践について講義及びグループ討議を交えて理解する。</p> <p>第11回 困難を抱える子どもと仲間関係② 困難を抱える子どもと仲間関係の理論と実践について講義及びグループ討議を交えて理解する。</p> <p>第12回 グループワーク① 人間関係をめぐる現代的課題についてグループで調べる。</p> <p>第13回 グループワーク② 人間関係をめぐる現代的課題についてグループで調べる</p> <p>第14回 グループワーク③ 調べた内容についてグループで発表する。</p> <p>第15回 グループワーク④ 調べた内容についてグループで発表する。</p>
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの人とかかわる力をどのように育てていくか、発達に即して記述できる。</li> <li>保育者として子ども同士のかかわりを育てていくための保育方法を身に付ける。</li> </ul>
授業の方法	講義及び演習にて行う。 個別の作業とグループワークを交互に用いながら、DVD映像や写真などを活用し、子どもの人間関係と保育について考える。
成績評価の方法	提出物・発表内容60%、授業への取り組み状況・参加態度40%
教科書・テキスト	なし
参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>文部科学省 2018 幼稚園教育要領解説 フレーベル館</li> <li>厚生労働省 2018 保育所保育指針解説 フレーベル館</li> <li>内閣府 2018 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 フレーベル館</li> </ul>
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	保育実習ⅠAの実習ノートを見返し振り返りを行う。 事後学修として、授業で学習したことを振り返り、要点を確認し、課題を整理しておくこと。
履修上の留意事項	グループをつくり授業を進めていく為、欠席はしないようにすること。
オフィスアワー	1号館308研究室 月～金のお昼休み

担当教員への連絡 方法	y-tokudome※osaka-aoyama.ac.jp (※を@に変える)
その他	